

講座報告

父親の子育てについて語り合おう

～子育てのあり方を考える～

日 時:令和 2 年 10 月 31 日(土)10:00～12:00

場 所:宮野地域交流センター

受講生:大人 13 人



<講 座 内 容>

「子育てにおける父親の役割」「父親が子育てに参加すると・・・」などについてお話いただき、「父親としてのポジションは？」をテーマにグループワークを行いました。

1 最近の「お父さん」について

昔と今の父親の子育て参加の違いについて



以前に比べて父親が子育てに参加する出番は多いようです。
学校の参観日の風景も以前とは変わってきています。以前は父親の姿をみるのは 6 月の父の日だけでした。今は普段から多くみかけます。共働きが進んだこともあり、父親と母親は代わりあって来られている方も多いです。

PTA 活動においても、お父さんの参加が多く、「父親の会」がある学校もあります。



2 子育てにおける父親の役割

父親の役割にはどのようなものがあるのでしょうか。チェックシートをつかってあてはまる項目を確認してみましょう。

☒ チェックしてみましょう

父親の役割 チェックシート	
子育てに参加して「頼りになる姿」を見せる	
言葉ではなく行動することで理解させる	
子どもにとって大きな壁となる存在でいる	
社会のルールを教える存在でいる	
子どもを遊びに連れていく(身体を動かして思い切り)	
妻の愚痴を聞き、子育てのガス抜きをする	
何かあったら最後に必ず助けてくれる存在でいる	

「7項目すべてにあてはまらなくても大丈夫ですよ。」

★「カナダ政府」曰く、父親の仕事とは、この3つである、といいます。



「子どものお腹」を食べ物で満たす
「子どもの頭」を知恵で満たす
「子どもの心」を愛と勇気で満たす



実際に自分がどんな父親であるのか、自分ではなかなかわからないものです。

3 父親が子育てに参加すると・・・



(厚生労働省作成「父親のワーク・ライフ・バランス ハンドブックより」)

先輩パパたちの実感

- ◆子どもたちとの時間を大切にしてきたので、娘の思春期のパパ嫌いもなかった。
→「娘のトリセツ」という本が人気を博しているように、父親にとって娘の対応は難しい？
- ◆パパとママが仲良しかどうか子どもは敏感に感じている。パパとママが仲良しだと、子どもの心も安定すると思う。
→一番大切なことではないでしょうか。(詳しくは後ほど)
- ◆パパとママの得意分野で子どもを遊ばせることができるので、子どもの遊びのレパートリーが増える。
→両親が趣味をもっていて、そこに引き込もう！釣り、スポ少 etc…
- ◆保育園の送り迎えでパパ友ができた。親同士が仲良しだと、子ども同士も仲良くなる。
→男性は仕事中心になりやすいため、人間関係も仕事上のつきあいが主ですが、子どもを介した交流があることで新たな絆が作られます。

先輩ママたちの実感

- ◆ほぼ同等の家事・育児分担で、10年以上。綱渡りの日々だけど、二人三脚で夫婦の信頼関係が深まったと思う。
- ◆夫が、家事・育児を分担してくれなかったら、私の仕事と家庭との両立も難しかったと思う。
→家事の分担により、母親も地域の講座に参加するなど自由な時間を使えます。
- ◆子育てについて同レベルで話ができるので、自分一人で抱え込まずに済んでいる。それが何より感謝すべきこと。
→自分は当時できていなかったように思います。
- ◆夫が育児休業取得で家事・育児を体験しているので、その大変さをわかってくれている。
→男性も育児休暇取得を奨励されています。実際にはなかなかとりにくいようです。



4 父親としてのポジションは？

縦軸：子どもとの距離・一緒に過ごす時間
(親密⇄疎遠)

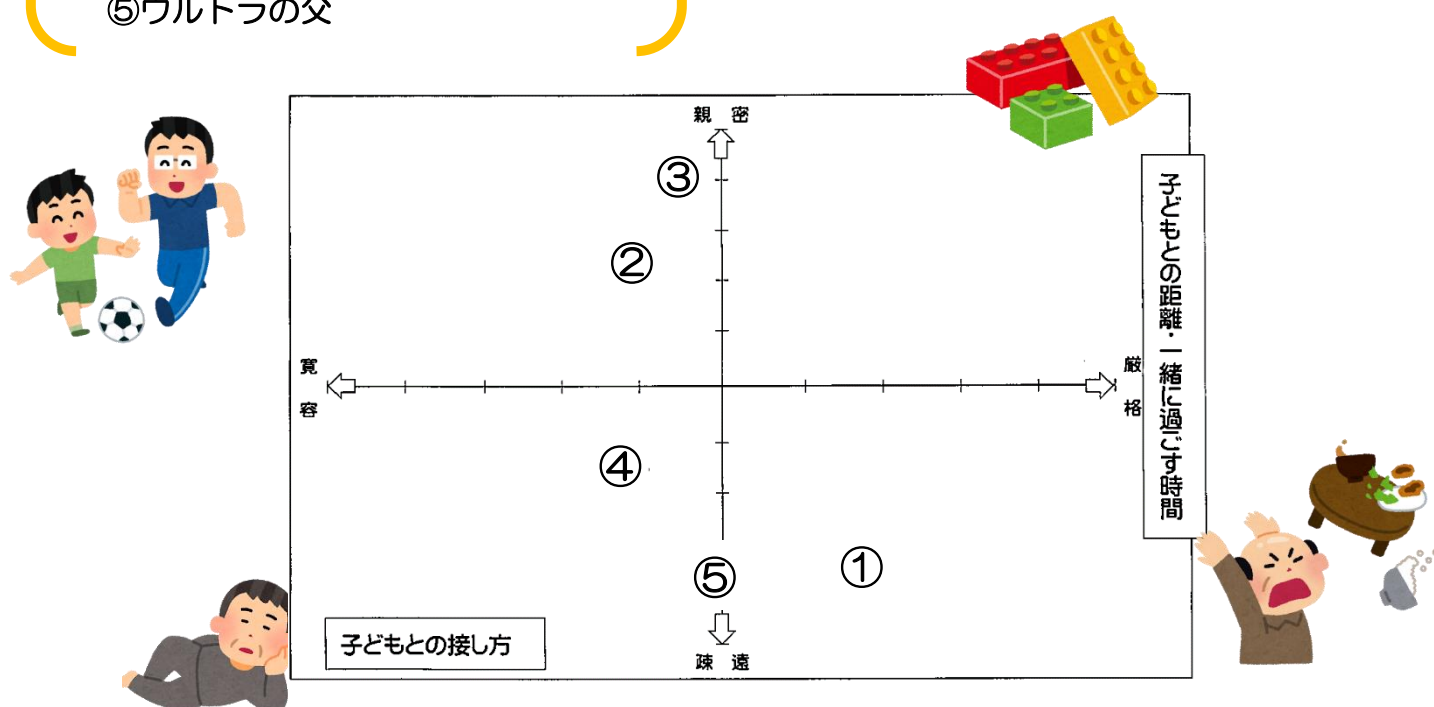
横軸：子どもとの接し方(寛容⇄厳格)

このグラフ内の位置で考えてみましょう。

例えばこんなお父さんはどの位置に・・・？

(下図中番号)

- ①ドラマ寺内貫太郎一家の父親
- ②アニメとなりのトトロの父親
- ③アニメクレヨンしんちゃんの父親
- ④アニメちび丸子ちゃんの父親
- ⑤ウルトラの父



ワーク

この例にならって、参加者にとって以下の「父親」がどのポジションにあたるのか、資料内の白紙グラフに、下記のとおり、今、昔、未来として記入してみました。

- 今・・・今の自分（夫）の、父親としてのポジション（-----赤いシール）
- 昔・・・自分の父親の、父親としてのポジション
- 未来・・・5年後、自分がいたいと思う父親のポジション（---緑のシール）

グループワーク

子どもの年齢層により3グループに分かれていただきました。
各グループにグラフシートを用意、参加者それぞれに、考えた場所にシールを貼りながら自己紹介をしていただきました。
お互いのポジション、コメントなどから、自分が考える父親としての子育てなどについて思ったことなどを自由に話し合っていました。



他のグループのグラフと比べてみながら、父親の子育てについて一緒に考えてみました。

◆理想的な「父親の子育て」の解答について

まとめ

「いろいろな家族の形があり、『正解』はありません。ただ、あこがれや理想はもっていてもよいのではないのでしょうか。」

「自信をもって、やりたいようにできればいいと思います。」

◆「父親」としての評価・・・評価者は誰か？

重要!

「世間の評価や、自分がどうあるか、ではなく、第一に子どもにとって、そして妻にとってどういう存在であるか。答えはすぐに出ません。後に子どもがどう思うかが大事です。」

参考

子どもが「お父さん大好き！」って言う家庭に共通しているたった一つのこと

教育コンサルタント 西条 美保さん

色々な年齢の子どもたちを見てきて、お父さんを好きか嫌いかって、結構はっきり分かれることに驚きます。・・・この差は何だろうとよくよく観察してみると、お父さんの頑張りはもちろんあるにはあるのですが、お母さんが子どもに「お父さんをどう説明しているか」が深く関係しているようです。・・・（お母さんの）子どもへの説明がお父さんへの賞賛だったり、単に「ママはパパが大好き！」などと言っているだけでも、子どもたちはお父さんに対してさらに良い思いを持つと思います。

また、それに加えて、お互いに尊敬しあったコメントやケアをしあっていたり、感謝を言い合ったりしているところを子どもたちはすごく良く見ています。

夫婦やパートナー関係、うまくいっているときばかりではないと思いますが、子どもにはポジティブなことを言っていると、両親に対して子どもが「大好き」という思いと信頼を持つようになり、夫婦の子育て協力がさらにしやすくなると思います。

特に、思春期になると、大切な場面でお父さんに何か言ってもらった方がうまく行くシチュエーションが増えます。そのときに子どもがお父さんに対して尊敬、信頼、「好き」という感情をもっているかどうかで言葉の効力もものすごく変わってきます。やはり、好きな人、尊敬している人の言葉は響くのです。



ポイント

☆父親は、家庭内のうまくいかないことを、とかくお母さんのせいにしがち。しかし、夫として、妻の評価を上げておくことが大事です。

☆母親にとって子どもは、身体の一部であり、本能的に「母親」であり得るが、父親は、「父親をやろう」と意識をしなければ父親にはなれないのではないのでしょうか。

本原先生より

現在、少子化は進み、出生数は大幅に減少しています。
(山口県では過去最大の減少率)

そんな中で、
子どもの父親でいられることの幸せについて、
しっかり受け止めてみてはいかがでしょうか。



講座の様子から

約 2 時間の間、グループワークを交えながら父親の子育てについてお話していただきました。参加者の方はそれぞれ熱心に意見交換をされていました。



※新型コロナウイルス感染症対策として、受付にて検温、体調の確認、手指消毒の奨励、講座途中窓の開放による換気を行いました。ご協力ありがとうございました。

アンケートより ご意見・ご感想を一部ご紹介



- ★同年代の子どもをもつお父さんの話を実際に聞いたり、話すことができて良かった。
- ★他の父親、母親のお話を聞き、自己を客観的にみる機会となった。
- ★母と父の関係性の重要性について非常に大切であることがわかった気がします。とても学びのある講演でした。
- ★父親として、また夫として妻や子どもとの関わりを大切にされていらっしゃる意見をお聞き出来て良かったです。
- ★世の中のいわゆるイクメンと呼ばれる父親たちは、いつもどのように子どもや妻と接しているのかを知りたくて参加しました。答えは「ない！！」といわれましたが、夫婦仲が良いのが一番だと、再確認できました。家に持ち帰り、夫に、今日の講義を私なりに伝えていけたらと思います。少子化の今、親にさせてくれてありがとうございますと子どもに感謝しながら子育てしていけたらと思います。